

農作業中の熱中症を予防しましょう!!

農作業中の熱中症を 予防しましょう!!

農業者の
みなさまへ

夏に向けて、農作業中に熱中症になる人が増えてきます。
熱中症は正しい知識を身につけることで、適切に予防することが可能です!!

* 農作業中の熱中症 *

- 毎年、約30名の方が農作業中の熱中症により死亡
- 死亡事故の約85%が7～8月に発生している一方で3～6月にも発生



* 予防のポイント *

暑さを避ける

高温時の作業は極力避け、日陰や風通しのよい場所で作業



こまめな休憩と水分補給

喉の渇きを感じる前に、こまめに水分・塩分を補給



単独作業は避ける

複数名で作業を行う、時間を決めて連絡をとり合う



熱中症対策アイテムの活用

帽子や吸湿速乾性の衣服の着用、空調服や送風機の活用



そのほか、日々の体調管理など熱中症に負けない体づくりをしておきましょう!

農林水産省

もっと
知りたい!!

熱中症対策

* 熱中症対策アイテム *

身体を冷やす

暑い時間帯の作業等が避けられないときに活躍



ファン付きウェア、ネッククーラー

1人作業の備え

やむを得ず1人作業をする際のリスクを回避したいときに活躍



ウェアラブル端末、応急セット

環境改善

作業場を涼しくしたり、休憩の質を高めたいときに活躍



ミストファン

* 熱中症警戒アラートとMAFFアプリの連携 *

熱中症警戒アラートとは?
熱中症の危険性が極めて高くなると予測された際に発せられる注意喚起情報

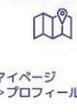
STEP 1 STEP 2 STEP 3 STEP 4

MAFFアプリの入手



Android iOS

地域の設定



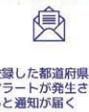
マイページ > プロフィール設定

PUSH通知ON



スマートフォン側の通知設定も確認

通知が届く



登録した都道府県にアラートが発生されると通知が届く

* 熱中症が疑われる場合には *

01 作業を中断



(代表的な症状)
・ 汗をかかない、体が熱い
・ めまい、吐き気、頭痛
・ 倦怠感、判断力低下

02 応急処置



・ 涼しい環境へ避難
・ 衣服をゆるめ体を冷やす
・ 水分・塩分を補給

03 病院へ



応急処置をしても症状が改善しない場合は医療機関で診療を受けましょう!!

熱中症対策アイテムの活用例

○暑い時間帯の作業等が避けられない場合



▲ファン付きウェア
身体に風を吹き込み、気化熱で涼しい



▲冷却ベスト
保冷剤などで身体を直接冷やす
ファン付きウェアも組合せも◎



▲ヘルメット・帽子
過熱素材を練り込んだものや通気性のあるものなど、素材や機能性もチェック



▲ネッククーラー
首元は冷やす場所として最適
水や氷を使用するもの、充電して使用するものがある



農林水産省HP
熱中症対策はコチラ

○一人作業のリスクを回避したい場合



▲ウェアラブル端末
深部体温や体内の水分バランスを計測し、休憩や水分補給のタイミングをお知らせ



▲救急セット
経口補水液や冷却グッズ、きれいな水など、一式を準備



▲冷感タオル
水で濡らして
気過熱を利用して、体を冷やす



▲ミストファン
バケツの水を利用して、ミストを発生



▲ミスト発生器
工場扇やテント等に後付け可能